
第21回モニタリング会議 ご説明資料 (2019年4月～12月業績報告)

2020年3月17日



1. 計画と実績の対比	p.3
□ 全社PL	
□ 路線バスPL	
□ 軌道PL	
2. 公共交通利用状況	p.6
□ 路線バス	
□ 軌道	
3. 公共交通取組状況	p.8
4. 公共交通に関する設備投資の実施状況	p.9

計画と実績の対比（全社PL）

全社の事業再生計画第5期（2019年4月～12月）実績は、以下のとおりです

※事業再生計画の財務数値は、「とさでん交通」と「とさでんトラベル（旅行業）」との合算

<2019年4月～12月>

	2019/4～2020/3月	2019/4～6月	2019/7～9月	2019/10～12月	2019/4～12月	進捗率 ②÷①	2018/4～12月	前年 同期比
	12ヶ月 計画①	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	9ヶ月 実績②		前年同期 実績	
売上高	5,449	1,388	1,506	1,431	4,325	79%	4,395	98%
売上原価	573	189	217	203	609	106%	646	94%
差引収益	4,876	1,199	1,289	1,228	3,716	76%	3,750	99%
人件費	2,500	603	723	718	2,044	82%	2,078	98%
厚生費	294	85	108	88	281	96%	286	98%
動力費	519	101	108	97	306	59%	325	94%
修繕費	292	67	78	83	228	78%	206	111%
物件費	108	20	33	16	69	64%	60	115%
経費	1,000	228	234	214	676	68%	725	93%
諸税	105	18	24	20	62	59%	59	105%
減価償却費	538	125	122	129	377	70%	378	100%
営業費計	5,356	1,247	1,430	1,366	4,043	75%	4,118	98%
営業利益	-479	-48	-141	-138	-327	-	-368	-
営業外収益	56	39	14	14	67	120%	63	106%
営業外費用	62	18	12	13	43	69%	47	91%
経常利益	-485	-27	-139	-137	-303	-	-352	-
特別利益	547	6	5	0	11	2%	15	-
特別損失		0	5	0	5	-	1	500%
税引前当期利益	62	-21	-139	-137	-297	-	-338	-
法人税等	51	0	11	0	11	-	12	92%
当期純利益	11	-21	-150	-137	-308	-	-350	-

<経費科目説明>

動力費・・・軌道動力費・バス軽油費等 修繕費・・・軌道、バス事業における各種修繕等 物件費・・・水道光熱費・備用品等
 経費・・・賃借料・借地料・広告宣伝費・道路使用料等 諸税・・・固定資産税・自動車税等 減価償却費・・・固定資産償却・のれん代償却
 営業外収益・・・受取配当金・業務委託料等 営業外費用・・・支払利息等 特別利益・・・補助金等 特別損失・・・固定資産圧縮損等

<2019年4月～12月第3四半期の概況>

■事業再生計画比 ※第3四半期につき進捗率75%と比較

売上高、差引収益は計画をクリア。営業費は人件費が計画比上振れしたが、軽油単価の低位推移等により、計画通りの進捗
 営業利益、経常利益ともに赤字であるが、計画を上回る進捗

- 【売上高】4,325百万円となり進捗率79%
- 【売上原価】旅行事業部門の押上により、進捗率106%
- 【差引収益】計画を上回る進捗
- 【営業費】計画並みで推移
- 【営業利益】△327百万円の赤字であるが計画を上回る進捗
- 【営業外損益】上場株式配当金等により24百万円のプラス
- 【特別損益】運行委託料により6百万円のプラス
- 【当期純利益】第3四半期経過時点で△308百万円の赤字
→補助金の大半は年度末に計上

■対前年同期実績比

- 売上高、差引収益はやや下振れ推移
- 営業費は、人件費・経費を中心に75百万円減少
- 営業損益は前年同期比で赤字幅41百万円減少
- 経常損益・当期損益は営業外収支が前年比+8百万円により前年比赤字幅減小

※利益面では前年度に比べ台風等の影響は今年度は軽微

計画と実績の対比（路線バスPL）

路線バス事業の2019年4月～12月実績は、以下のとおりです

<2019年4月～12月>

	2019年4月～12月					進捗率 ②÷①	2018/4～12月	
	2019/4～2020/3月 12ヶ月	2019/4～6月 第1四半期	2019/7～9月 第2四半期	2019/10～12月 第3四半期	2019/4～12月 9ヶ月		前年同期	前年 同期比
	計画①	実績	実績	実績	実績②		実績	
売上高	1,056	241	257	238	736	70%	750	98%
売上原価						-		-
差引収益	1,056	241	257	238	736	70%	750	98%
人件費	737	176	216	208	600	81%	625	96%
厚生費	79	26	32	27	85	108%	86	99%
動力費	184	38	41	32	111	60%	124	90%
修繕費	120	23	30	28	81	68%	78	104%
物件費	29	4	6	4	14	48%	14	99%
経費	164	40	41	30	111	68%	110	101%
諸税	25	6	1	4	11	44%	10	110%
減価償却費	136	30	31	33	94	69%	98	96%
営業費計	1,474	343	398	366	1,107	75%	1,145	97%
専属営業損益	-418	-102	-141	-128	-371	-	-396	-
減価償却前専属営業損益	-282	-72	-110	-95	-277	-	-298	-

<専属営業損益とは>

✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

単位:百万円

<計画差異要因等>

✓ 売上高

- 2017年4月からのスクール線便数減少による減
- " 10月からの安芸線移管による減
- 2018年10月からの土佐市ドラゴンバス移管による減
- 2019年10月からの須崎線移管による減
- " からの南国フィーダー線移管による減

✓ 費用

- 人件費:人事制度改正による増、時間外手当増
- 厚生費:人件費増、科目計上ルール変更に伴う増
- 動力費:軽油単価の低位推移、走行キロの減
- 修繕費:減車及び車両更新による減

✓ 専属営業損益

- 費用は計画並みであったが、収入減少により、計画を下回る進捗

<前年同期差異要因等>

✓ 売上高

- 土佐市ドラゴンバス、須崎線、南国フィーダー線移管とダイヤ改正による減キロによる減

✓ 費用

- 人件費:運転業務数減による時間外手当減および乗務員数減による減
- 動力費:走行キロ減及び軽油単価低下による減
- 修繕費:部品・タイヤの仕入価格上昇による増
- 経費:一宮BT借地料及び保険料の増

✓ 専属営業損益

- 費用減により、赤字幅25百万円縮小

<科目計上ルール変更とは>

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

計画と実績の対比（軌道PL）

軌道事業の2019年4月～12月実績は、以下のとおりです

<2019年4月～12月>

	2019年4月～12月					進捗率 ②÷①	2018/4～12月	
	2019/4～2020/3月 12ヶ月 計画①	2019/4～6月 第1四半期 実績	2019/7～9月 第2四半期 実績	2019/10～12月 第3四半期 実績	2019/4～12月 9ヶ月 実績②		前年同期 実績	前年 同期比
売上高	1,000	256	292	259	807	81%	815	99%
売上原価						-		-
差引収益	1,000	256	292	259	807	81%	815	99%
人件費	562	146	178	177	501	89%	496	101%
厚生費	70	21	27	23	71	101%	69	103%
動力費	77	19	24	19	62	80%	63	99%
修繕費	46	13	16	18	47	101%	36	131%
物件費	22	7	10	4	21	94%	18	117%
経費	60	17	20	16	53	89%	53	100%
諸税	15	2	2	4	8	52%	5	160%
減価償却費	47	11	10	10	31	66%	31	100%
営業費計	901	236	287	271	794	88%	771	103%
専属営業損益	99	20	5	-12	13	13%	44	29%
減価償却前専属営業損益	146	31	15	-2	44	30%	75	59%

<専属営業損益とは>

✓ 本社費配賦前の事業別営業損益

単位:百万円

<計画差異要因等>

- ✓ 売上高
 - 計画を上回る進捗
- ✓ 費用
 - 人件費:人事制度改正による増、時間外手当増
 - 厚生費:人件費増・科目計上ルール変更に伴う増
 - 動力費:賦課金の燃料調整費増
 - 修繕費:繰越修繕費用による増
 - 物件費:PC入替等
 - 経費:ですかシステム更新賃借料、美術館通P&R代替地賃借料等による増
- ✓ 専属営業損益
 - 13百万円の黒字であるが、営業費が計画比高止まり(88%)のため、進捗率は計画を下回る

<前年同期差異要因等>

- ✓ 売上高
 - 前年同期比99%、8百万円減
- ✓ 費用
 - 人件費:乗務員不足による時間外手当増
 - 修繕費:繰越工事の材料費増
 - 物件費:PC入替等
- ✓ 専属営業損益
 - 売上高減、営業費増のため31百万円減益

<科目計上ルール変更とは>

- ✓ 計画上、嘱託社員等の人件費+厚生費を全て人件費に計上していたが、実績は、人件費と厚生費をそれぞれに分けて計上している

公共交通利用状況（路線バス）

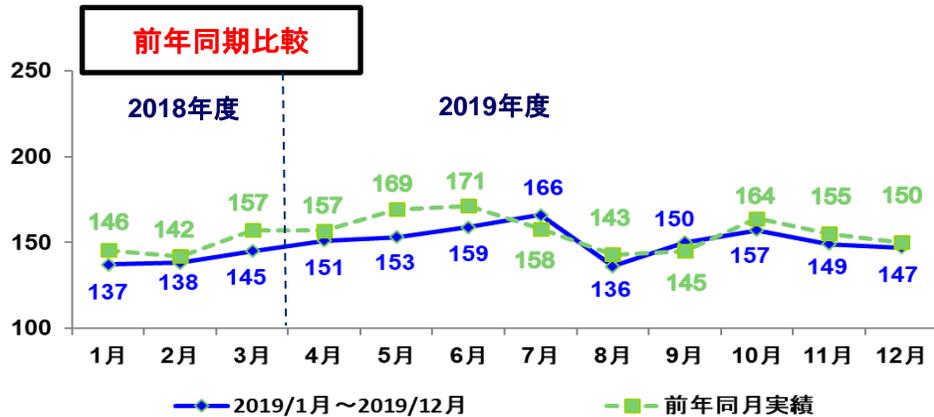
路線バスの2019年4月～12月利用状況：運送収入は前年比98%、IC利用客数は前年比97%

- 本表は運送収入のみ
 広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない
 <2019年4月～12月>

単位：百万円

	2018/10～12月	2019/10～12月	2018/4～12月	2019/4～12月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月	3ヶ月	9ヶ月	9ヶ月	
	前年同期	実績	前年同期①	実績②	
運送収入	236	232	730	718	98%
①定期全体	43	44	138	139	101%
②定期外収入	193	188	592	579	98%
うち、現金収入	103	104	324	322	99%
うち、SF	90	84	268	257	96%

<利用客数推移> 単位：千人



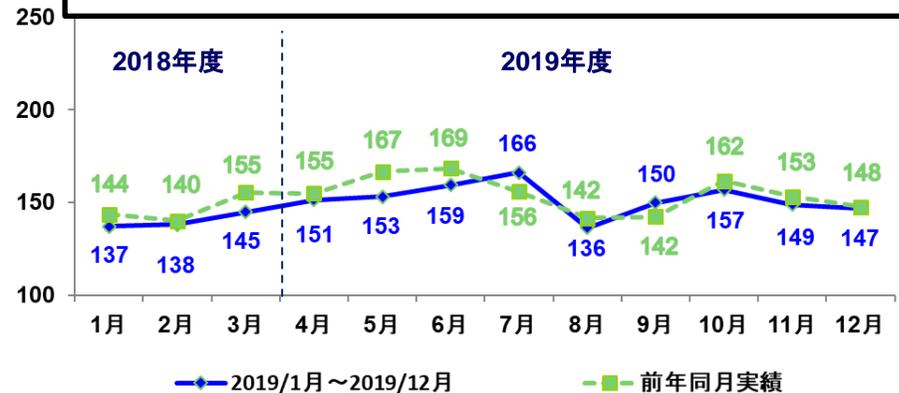
<路線バス収入の増減要因>

- ✓ 「ダイヤ改正による減キロ」
 2018年10月1日 △8.6%
 2019年10月1日 △11.3%
- ✓ 昨年度の運送収入から4月～9月・土佐市ドラゴンバス、10月～12月・須崎線、南国フィーダー線を除いた場合はほぼ前年並み

【移管等の影響】 単位：百万円

	R1
土佐市ドラゴンバス	▲6
須崎線	▲1
南国フィーダー線	▲4

土佐市ドラゴンバス、須崎線、南国フィーダー線移管の影響を除いた比較



<利用客について>

- ✓ 減少要因は2018年10月ドラゴンバス、2019年10月須崎線、南国フィーダー線移管の影響もあり、ICカード利用客数は1,369千人、前年同期は1,413千人で97%
- ✓ 前年同期分から、ドラゴンバス、須崎線、南国フィーダー線移管を除いた場合は1,393千人で98%となる
 - ・ 利用客数は、ICカード「ですか」に基づいており、現金などを除く
 - ・ IC使用率は約60%(利用客数による)

公共交通利用状況（軌道）

軌道の2019年4月～12月利用状況：運送収入は前年比98%、IC利用客数は前年比98%

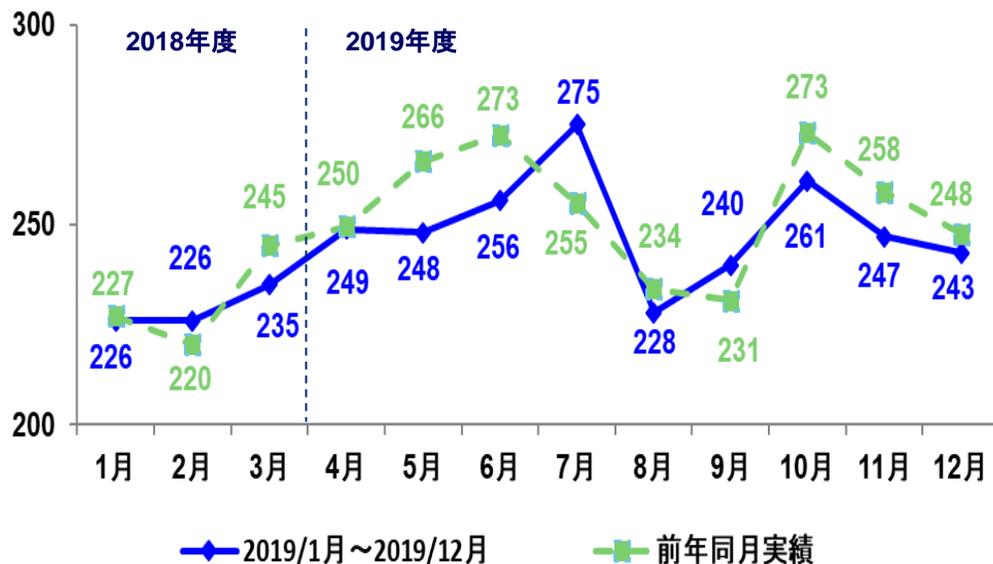
- 本表は運送収入のみ
広告収入及び、補償金等の特殊要因が含まれる「運送雑収入」は含めていない

<2019年4月～12月>

単位：百万円

	2018/10～12月	2019/10～12月	2018/4～12月	2019/4～12月	前年 同期比 ②÷①
	3ヶ月 前年同期	3ヶ月 実績	9ヶ月 前年同期①	9ヶ月 実績②	
運送収入	237	227	733	718	98%
①定期全体	63	63	195	197	101%
②定期外収入	174	164	538	521	97%
うち、現金収入	116	109	365	352	96%
うち、SF	58	55	173	169	98%

<利用客数推移> 単位：千人



<軌道収入の増減要因>

- ✓ 運送収入は、前年同期比98%
- ✓ 「雨天日」は、2019年4月～12月で前年比▲5日
- ✓ 定期全体の収入は、上期は通勤定期が好調。消費税増税前の駆け込み需要もあり、増収
- ✓ 定期外収入が前年同期比▲17百万円（現金▲13百万円、SF4百万円）。現在の観光キャンペーンは郊外体験型のため、直接的な収入増にはつながっていないと見られる

<利用客について>

- ✓ 対前年同月比、7月、9月は増、その他は減。昨年と比較して、台風・豪雨の影響が少なかったため。
 - ✓ 9ヵ月累計のICカード利用客数は2,247千人、前年同期は2,288千人で98%
 - ✓ 主に現金・ICカードの利用者が落ち込んだ
 - ✓ 直接的な利用促進につながる「幕末維新博」の終了により、観光客利用（現金収入）が減少したとみられる
- ・ 利用客数は、ICカード「ですか」に基づいており、現金などを除く
 - ・ IC使用率は約53%（利用客数による）

公共交通取組状況

2019年度、路線バスと軌道の取組施策は以下のとおりです

《2019年度 実施施策》

内容	路線バス	軌道
■2019年4月1日～2019年9月末		
1 オリジナルフレーム切手発売 4月	-	○
2 高坂学園生涯大学K組 講演 4月	○	○
3 朝倉待合所供用開始 4月	-	○
4 高知赤十字病院乗り入れ 5月	○	-
5 ローラー活動(長浜) 5月	○	○
6 車いす対応可能バス停一覧図作成 5月	○	-
7 高校県体応援一日乗車券の販売 5月	-	○
8 公共交通体験プログラム(電車とバスで高知をうろちょろ) 6月	○	○
9 セミナー会員様車庫見学受入 6月	-	○
10 小学生を対象とした出前授業 6月(2校5クラス 計149名)	○	○
11 春・夏・冬休み!バスキッズ定期券販売開始 7月～	○	-
12 ですか伊野駅舎出張窓口 7月	○	○
13 日本テレビ「ヒルナンデス」での路面電車の紹介 8月	-	○
14 運輸のお仕事 アレコレFestaへの女性乗務員の出演 8月	○	-
15 ツアー旅行者様車庫見学受入 9月	-	○
16 電車で市商祭へGOプロジェクト 9月	-	○
17 テロ対応訓練 9月	-	○
18 飛鳥クルーズ車庫見学受入、貸切電車運行 9月	-	○

《2019年度 実施施策》

内容	路線バス	軌道
■2019年10月1日～2019年12月末		
19 保育園児、小学生を対象とした出前授業(園児クラブ1件、小学校1校)10月	○	○
20 「バスこっち」データを活用した運行時分の見直し 10月	○	-
21 車庫見学受入(小学校3校) 10月	-	○
22 ローラー活動(薊野地区、竹島地区) 11月	○	○
23 電車でストフェスへGOプロジェクト 11月	-	○
24 乗務員確保のため「どらなびEXPO(関西会場)」に参加 11月	○	-
25 小学生・園児を対象とした出前授業(NPO1法人) 11月	○	○
26 車庫見学受入(小学校1校、子育てサークル、企業1社) 11月	-	○
27 イオンモール高知「おかえりバスチケット」 11月	○	-
28 イルミネーション電車運行 12月	-	○
29 クリスマス・サンタ企画 12月	-	○
■2020年1月以降		
30 新春初詣きっぷの発売 1月	○	○
31 「EDSS」ドライバー異常時対応システム搭載車両の導入 1月	○	-
32 車庫見学受入(小学校支援学級1クラス) 1月	-	○
33 こうち環境博2020への出展 2月	○	○
34 ローラー活動(知寄町地区) 2月	○	○
35 乗務員確保のためのバス営業所見学ツアー実施 2月	○	-

公共交通に関する設備投資の実施状況

2019年4月～12月の公共交通に関する設備投資は、以下表のとおりです

【2019年度 設備投資計画実施内容】

単位：百万円

事業	計画			実施		備考
	投資計画総額	主な投資内容	投資計画額	投資実績額	投資目的・狙い	
路線バス	96	補助車両(4輛)の購入	86	87	安全安心、利便性向上	補助車両(再生計画分2両+計画終了分2両)購入
		その他	10	6	利便性向上他	一宮BT追加工事、ダイヤシステム更新他
軌道	118	レール重軌条化工事	20	0	安全安心	大橋通～上町2丁目
		分岐器交換	30	0	安全安心	枅形
		き電線改良	11	0	安全安心	後免線、いの線の一部区間
		電柱建替更新	8	0	安全安心	〃
		その他	49	18	安全安心他	朝倉待合所、蛸橋駅舎及び宿泊施設、冷房装置1両、ダイヤシステム更新、補助電源装置 他予定
合計	214		111			

■路線バス低床化率 58.06%(令和元年12月末時点) 【路線バス車両数 124輛(空港連絡除く)、うち低床車両 72輛】

【事業再生計画 設備投資計画進捗状況(累計)】

単位：百万円

		計画0期 15/3半期	計画1期 16/3期	計画2期 17/3期	計画3期 18/3期	計画4期 19/3期	計画5期 20/3期	累計	
路線バス	計画	109	151	111	111	111	111	703	
	実績	146	70	120	138	183	93	750	106.7%
軌道	計画	51	139	279	197	118	37	821	
	実績	51	125	116	366	131	18	807	98.3%